



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2552回例会

2018.10.30(火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

写真：黄金崎（伊豆半島ジオパーク）

2018-19

RI 会長 バリー・ラシン ガバナー 星野喜忠
会長 古藤田博澄 幹事 水谷隆一
会報委員会 土田 哲・長友範充

SAA 小野 信 2 S.L. 森田修史

斉唱 奉仕の理想

会長挨拶

会長 古藤田博澄



10月20・21日と京都乙訓クラブとの交流会で、京都を訪問しました。

総勢51名の会で、その内、伊豆中央からの出席者は12名、会場となった京都タワーホテルにて、例会を含め盛大な懇親会が開催されました。

いつものことですが、乙訓の熱い友情と心のこもった『おもてなし』に感動です。次年度は、乙訓50周年となりますので、交流の仕方を先方と調整していく必要があると思います。

先週27・28日には、甲府富士屋ホテルにて地区大会が開催されました。会長・幹事は初日からの参加となりましたが、RI会長代理としてご出席された、釧路北クラブの足立さん、星野ガバナーの話、さらには地区指導者育成セミナー、二日目の経済評論家、勝間和代さんの記念公演と内容盛りだくさんでした。

中でもRI会長代理ご夫妻の歓迎晩餐会は、地元の食材をふんだんに使用したフルコースに、この日のためにチョイスされた甲州ワインに舌鼓。最高の宴でした。

さらに、『ガバナー奨励賞』ということで、伊豆中央ロータリーのここ数年の、伊豆総合高校、地元行政との産官学連携事業が評価され、表彰されました。後ほどの「地区大会報告」の卓話で、そのあたりの報告を含め、印象に残ったお話など出席者の方から報告があると存じます。

慶事発表

- ・会員誕生日： 10月4日 木内昭夫
10月18日 小島昭男
- ・奥様誕生日 竹村淳一郎
- ・結婚記念日 10月5日 木内昭夫
11月3日 飯田晃司

幹事報告

幹事 水谷隆一

- ・次回11月6日は雨宮エレクトの卓話となります。
- ・例会場・例会時間の変更
三島西RC：11月15日・29日 特別休会
三島RC：11月21日 夜間例会
せせらぎ三島RC：11月30日 特別休会

出席報告

小林貞博

	出席総数	出席率	メンバー	修正出席率
前々回	20/23名	86.96%	22/23名	95.65%
今回	18/22名	81.82%	会員総数	23名

- ・今回の欠席者： 土田 哲・飯田健吾・紀平幸一
土屋雄三
- ・前々回のMU者： 木内昭夫（10/19 裾野RC）
土田 哲（10/2 北海道Eクラブ）

スマイル報告

親睦友好委員長 原田精治

	本日のスマイル	18,000円
	スマイルの累計	****円

- ・原田精治
京都乙訓RCとの交流例会に参加して下さった方々ありがとうございました。
大変意義のある交流会になりました。
相模原西RCとの交流例会もよろしくお祈いします。
- ・山口和拵
石井さん、地区大会御世話になりました。

古藤田博澄

◆地区指導者育成セミナー 「ロータリーを語ろう」 さいたま新都心クラブ 井原實 (い はら まこと) 氏
RLI (リーダーシップ研究会)

ロータリークラブとは『場づくり』

●親睦→出会いの場 縁結びの場 ⇒人脈を広げるために

●奉仕→地域に役に立つ活動をカタチに ⇒地域未来づくりの牽引集団

●会員増強→入りたい 続けたい と思えるクラブづくり ⇒委員会運営 クラブ運営 *リーダーシップ

『PDCA サイクル』を回す すなわち マネジメント

その為に 会員の『人材育成』は必須

一人ひとりのリーダーシップ=指導力 を育てることが必要

かつてどうだった から どこを目指す 何ができる → ビジョンを持つ

★地域・世界を変える行動人となることを 目指す ことで『モチベーション』をあげる。

まずは、各人が 考え 想いを 自由に語り合う ディスカッションの場づくりを!

◆RI 会長代理 2500 地区パストガバナー 鉦路北クラブ 足立 功一氏

ロータリークラブとは『地域の共同体』

民の力で地域を元気に!

若者との対話の場づくり 未来を描く とともに未来を語り合う

『親睦と奉仕はロータリーの両輪』

雨宮演邦

28日朝時で箱山を出発しました。会場の甲府富士屋ホテルには9時前に着きました。

続々と会員が到着し、いかに地区大会らしく、盛り上がってきました。

やがて9時30分、本会議が始まりました。約1500人の会員が固唾をのむなか、次々に進み、本会議が

終わりました。

11時より、記念講演として勝間野代先生の多様性の時代だ、多様性とは、多くの人の、得意のものを出し合い、構築していき結果的に全員が一番良い物を作る時代に来た。

10年後の世界は想像以上に早い速度で変化して9割のものが変わる等、の講話がありました。

1500人もの人が何事も無く終わる事が出来たことは、裏方の努力の、お陰様でした。

設営された方々に感謝申し上げます、ありがとうございます。

山口和拡



10月28日(日) 石井会員の車で、2時間程かけて甲府富士屋ホテルの地区大会に参加して来ました。

以前から面識のある星野ガバナと言う事で、是非出席させていただこうと思っていました。いつも通り9時半点鐘から粛々と本会議が進められ、山梨県知事、大月市長、甲

府商工会議所会頭の来賓祝辞もありました。1500人近くの人が一堂に会する景色に圧倒されます。

11時過ぎからの、記念講演は、勝間野代様の「何が今、多様性とセルフブランディングを可能にしているのか」と言うテーマでした。早速スマホで講師の経歴を見てみると、生まれは、東京の下町葛飾高砂、3人姉妹の末っ娘、頭が良かったそうです。お姉さんの勉強を参考に要領よく学習した事が今に繋がっているようです。大型バイクを乗り回したり、麻雀プロになったり、いかにも末っ娘の奔放な生き方のお手本みたいな方でした。著書は、全500万部以上売れていて、見事に現代の世の中のツボを心得ている事を痛感させる才能ある方のお話と言う事で、あっという間に予定の1時間を超えていました。

ミニコンサートと笹子追分人形浄瑠璃の分科会で気分を変えている間に、本会議場は懇親会場へ転換され、2時半過ぎからの食事会となりました。外への移動が無、設定が功を奏し、立錫の余地がない位参加者が残ってくれて、ガバナもホッとされていた事と推察します。ここ数年は、多額の予算をかけて静岡新聞、山梨日日にポリオ全掲載が実行され、公共イメージ向上に貢献していると思います。次年度は、地区初の女性ガバナ安間エレクト様から、会場は初めての浜松アクシティで、2400人座れますので、大勢の皆さん参加をお待ちしていますとの挨拶で、これも楽しみです。

長友範充

地区大会報告ということですが、内容については他の方から十分なご報告がありましたので、ここでは地区大会というものの自体について少し考えてみたいと思います。

まず、交通の問題。今回も2時間以上かかっています。これは致し方ないともいえますが、地区を担当するクラブの近くでなく、集まりやすい、便利な場所会場を固定することも有りではないかと思えます。

次に会費。今回は1名14000円です。確かにあれだけの人数が集まるので、お金がかかるのですが、14000円は少し高すぎるのではないかと思います。実際、クラブの予算を立てる段階で、例えば10名登録すると14万円かかるわけです。小さなクラブにとってはかなりの負担ではないかと思えます。

また会費や交通問題とも重なりますが、会場自体が、例えばこの静岡第1グループ内でおほとんど無い、こちらで担当したらどこで開催するんだろうという問題もあると思います。

地区大会を開催する事自体ご特に意見があるわけではありませんが、会場や開催方法については、開催クラブの負担や、会員の参加ということを考えると、これから少し考えて行かなくてはならないのではないかと思います。